

3 指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

2年
三鷹市立第一小学校

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展の指導計画
国語	<p>読書や音読などの活動に楽しんで取り組むことができた。内容を味わう読みができるように指導する必要がある。</p> <p>楽しんで書くことはできるが、様子や気持ちを考えて書くことが不十分である。文章に感想や考えを書き表す機会を多くする必要がある。</p> <p>言語事項については、計画的に指導を進めているが、文章の中で漢字やかたかなを適切に使うことができていない。語句の使い方慣れるよう、繰り返しの指導が必要である。</p>	<p>朝読書の時間などで集団読書をした後、内容や感想を話し合う活動をする。</p> <p>月2～3回書くめあてをはっきりさせ、学校や家庭で日記を書き、文章を書くことにまず慣れさせ、思いを表現する言葉を見つける練習を重ねる。</p> <p>作文指導の中で適切な漢字を使えているか、友達との交換読みなどの形で推敲を行わせ、語句に着目する時間を設ける。</p> <p>漢字ミニテストを朝の時間に週1回程度行い、進んで学習に取り組むようにする。</p>	<p>補充 漢字クイズ、言葉の使い方クイズ、筆順当てゲーム等をやりながら、楽しく学習できるようにする</p> <p>保護者に協力を呼びかけ家庭学習で意欲的に日記に取り組めるようにする</p> <p>発展 文章の読み取りを深めるためにIT(地上デジタルコンテンツ)を活用し、作品を読み味わう機会を取り入れる。</p>
社会			
算数	<p>基礎基本となる加法・減法の計算練習に計画的に取り組むようにしたが、進度の個人差が大きい。教材や手だての工夫が必要である。</p> <p>量と測定においては、基本的な知識は身に付いたが、量感が十分でない。量感が必要とされる体験的な教材を多く取り入れていく。</p> <p>少人数、習熟度別学習による個に応じた指導法をより充実させる必要がある。</p>	<p>数量の単元ごとに、計算ドリルや計算問題などに取り組み、正確さが身に付くようにする。</p> <p>一斉指導においても、個別な指導が必要な児童に対して、机間指導を個々に指導する時間を計画的に設ける。</p> <p>ノート指導を毎時間ごときめ細かく行い、丁寧にノートを取るよう習慣付ける。</p> <p>一斉・グループ・少人数などの学習形態を工夫し効果的に取り組む個に応じた具体物を活用し、基礎基本が身に付くようにする。</p>	<p>補充 日常生活において、物差しなどを使って測定することのよさに気づき、進んで測定できるようにする。</p> <p>計算練習などの家庭学習をより徹底する。</p> <p>発展 発展教材を用意し、さらに意欲を引き出すようにする。</p>
理科			

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展の指導計画
生活	<p>実際に公園に出かけ、体験的な学習を進めているが、地域との関わりを十分に感じさせるには至っていない野菜を育て、継続的に観察しているが、観察の視点をもっていないので、その都度、視点を明らかにして提示する必要がある。</p>	<p>学区域を中心に生活圏内を歩いて回る。時期の1,2学期間は、教育ボランティアを活用し、地域や地域の人との関わりをもてるよう学習計画を立て、実施していく。</p> <p>発見したこと、調べたことをデジタルカメラやパワーポイントなどITの活用を通して1年生への学校紹介や町探検などでプレゼンする場を学期に1度設け、観察する目を育てる。</p>	<p>補充 デジタルカメラで写真を撮り記録を残しプレゼンや振り返りを行う時に効果的に利用する。</p> <p>発展 図書館を効果的に利用して図鑑やその他の資料を活用する力を付ける。</p>
音楽	<p>曲の気分を感じ取って、楽しく歌っているが、リズムにのれない児童がいる。指導の手立てを工夫する必要がある。</p> <p>鍵盤ハーモニカの技能に個人差がある。指導の手立てが必要である。</p>	<p>歌ったり、鑑賞したりする活動に身体表現や簡単な打楽器を取り入れ、リズムをとる活動の機会を多くする。</p> <p>リレー奏や分担奏を繰り返し行い、技能力を高める。</p> <p>児童同士教え合ったり、教師が個別に指導したりして鍵盤ハーモニカ指導の個人へ対応していく。</p>	<p>補充 身体表現に抵抗がある児童には、教師が個別的に模範を見せる。</p> <p>個々に応じて教師が見本を見せ、指遣いやフレーズ感に注意しながら指導する。</p>
図工	<p>自分の思いをのびのびと表現する作業において、個に応じた指導が十分でない。</p> <p>基本的な道具の正しい使い方方の練習をさせる必要がある。</p>	<p>体感（観察する・触る・比べる）する活動を毎時間取り入れながら、表現していくようにする。</p> <p>工夫しているところを全体の場で意識的に賞賛する。</p> <p>道具の正しい使い方が身に付くようプラズマテレビで教師が見本を見せ毎時間少しずつ繰り返し指導する。</p> <p>思いを表現できるようアイデアを練り、集中して取り組む時間を課題ごとに確保する。</p>	<p>補充 作品が早く完成した児童には、さらに道具を使って制作する課題を用意する。</p> <p>作品への取りかかりに時間がかかる児童には、個別に模範を示し、励ましながらか制作を促す。</p>
家庭			
体育	<p>めあてをしっかりとって運動に取り組ませるようにしてきたが十分ではない。</p> <p>楽しく活動はするが、よい動きが身に付きにくい。感覚を身につけさせる指導の手だてが必要である。</p>	<p>毎時間、教師の投げかける言葉でしっかりとめあてがもてるよう意識を高める。また、学習の最後に振り返りの時間を5分設け、ルールについてや自分の動きを考え、次の時間へのめあてをもたせる。</p> <p>友達の動きのよさを見つけて取り入れることができるような効果的な言葉がけを意識的に取り入れていく。また、よい動き例の学習資料の提示も取り入れていく。</p>	<p>補充 よい動きの具体的な例を学習資料として提示していく。</p> <p>発展 様々な基本的な動きを取り入れた運動を意識的に取り入れていく。</p>